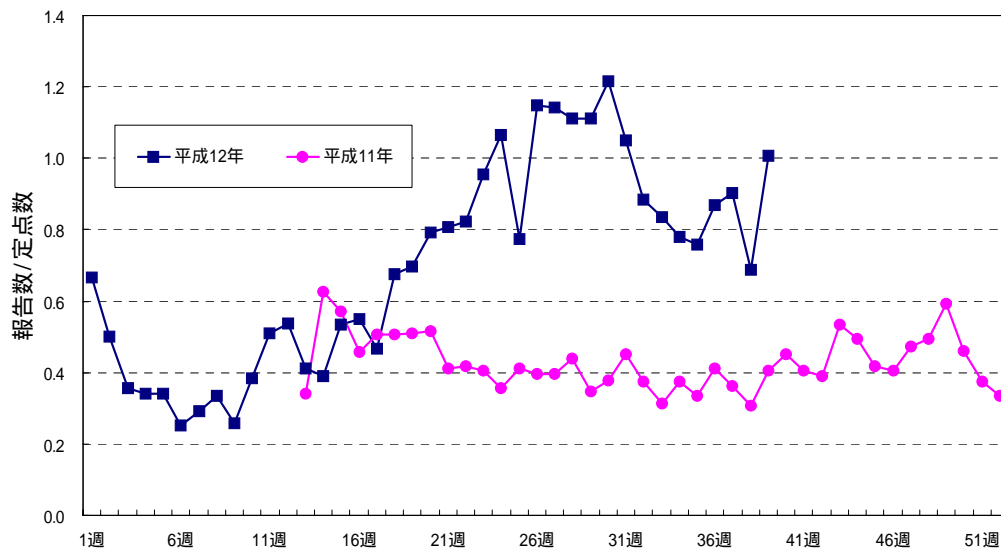


# 愛知県感染症情報

## 平成 12 年第 39 週（9 月第 4 週）

（コメント）

手足口病、流行性耳下腺炎は流行中です。3 類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）が依然流行しています。施設内集団感染の例も見られていますので注意してください。予防対策として、食前、用便後には、石鹸等で良く手を洗い、加熱調理食品は、中まで火が通るよう十分加熱するなどの注意をしてください。また、健康状態に異常が生じた場合には、早めに医療機関に受診し、最寄りの保健所等に相談してください。



流行性耳下腺炎(名古屋市を含む。平成11年は、13週(4月1日～)から)

（先生方からのコメント）

### ● 尾張西部地区

- ・ ETEC O-153 17 歳女

40 に及ぶ弛張熱が続き、咽頭痛インフルエンザ A 迅速試験が陽性でした。4 名（4 歳女、4 歳男、3 歳男、2 歳女）

マイコプラズマ肺炎 2 名（6 歳男、3 5 歳男）

流行性耳下腺炎の小流行があります。

（尾西市 城後小児科）

- ・ ムンプスが多くなりはじめました。手足口病つづいています。

（岩倉市 なかよしこどもクリニック）

- ・ 手足口病が少し増加してきました。流行性耳下腺炎の小流行が続いています。

( 江南市 みやぐちこどもクリニック )

- 尾張東部地区

- ・ 手足口病は激減しました。  
その他目立った感染症は認めません。  
( 尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院 )

- ・ カンピロバクター腸炎 4歳女  
病原性大腸菌 O-1 VT1・VT2 ( - ) 1歳女  
( 東海市 小児科ハヤカワ医院 )

- 西三河地区

- ・ カンピロバクター 14歳男  
( 岡崎市 花田こどもクリニック )
- ・ カンピロバクター 6歳男  
マイコプラズマ肺炎 ( 抗体価 2560 ) 6歳男  
( 岡崎市 にいのみ小児科 )
- ・ SSSS ( ブドウ球菌性熱傷様皮フ症候群 ) 3名 ( 4歳男、4歳女、1歳男 )  
カンピロバクター 2名 ( 6歳女、8歳女 )  
( 幸田町 とみた小児科 )
- ・ 園児中心にムンプス流行  
( 碧南市 永井小児クリニック )
- ・ 喘息発作が増えてきました。  
( 西尾市 やすい小児科 )

( 1~3類感染症の発生状況 )

腸管出血性大腸菌感染症患者 11名

- ・ 豊川保健所から報告の1歳女 9/20発病、9/21初診、9/26診定。  
菌型は、O-26 VT1 ( + )
- ・ 瀬戸保健所から報告の3歳男 9/13発病、9/13初診、9/19診定。  
菌型は、O-157 VT2 ( + )
- ・ 安城保健所から報告9名 ( 6ヶ月女1名、3歳男1名、3歳女2名、4歳男1名、4歳女2名、5歳男1名、37歳男1名 )  
菌型は、いずれも O-26 VT1 ( + )

#### 腸管出血性大腸菌保有者 13 名

- ・ 瀬戸保健所から報告の 46 歳女 9/25 初診、9/25 診定。菌型は、O-157 VT2 ( + )
- ・ 瀬戸保健所から報告の 25 歳女 9/19 発病、9/21 初診、9/27 診定。菌型は、O-157 VT1・VT2 ( + )
- ・ 刈谷保健所から報告の 2 歳女 9/27 初診、9/30 診定。菌型は、O-26 VT1 ( + )
- ・ 刈谷保健所から報告の 7 歳男 9/28 初診、10/1 診定。菌型は、O-26 VT1 ( + )
- ・ 安城保健所から報告 9 名 ( 3 歳男 1 名、3 歳女 1 名、4 歳男 3 名、4 歳女 1 名、5 歳男 1 名、5 歳女 1 名、40 歳男 1 名 )  
菌型は、いずれも O-26 VT1 ( + )

#### 細菌性赤痢患者 1 名

- ・ 半田保健所から報告の 26 歳女 9/23 発病、9/26 初診、9/26 診定。菌型は、ゾンネ 相。インドへ渡航歴有り。

#### ( 全数把握の 4 類感染症の発生状況 )

クロイツフェルト・ヤコブ病患者 1 名。

#### 第 37 週 ( 9 月 11 日 ~ 9 月 17 日 ) の 4 類感染症の全国状況

手足口病、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数が、例年に比べてかなり多くなっている。手足口病の定点当たり報告数が多いのは、鳥取県、長野県、大分県で、定点当たり報告数はそれぞれ 5.1 、 4.8 、 3.6 となっている。流行性角結膜炎は茨城県で定点当たり報告数 7.1 、長崎県で 4.1 と多い。

#### 第 38 週 ( 9 月 18 日 ~ 9 月 24 日 ) の 4 類感染症の全国状況

手足口病の定点当たり報告数が例年に比べかなり多い。定点当たり報告数が多いのは長野県、島根県 ( 定点当たり報告数 5.0 )、鳥取県 ( 4.4 ) などである。咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数も、例年に比べてやや多くなっている。

( Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報 )